



中北マナーキャラクター
中北みどりちゃん

手紙のしきたり

現在は、電話やFAX、メールやSNSなど、さまざまな便利な連絡手段があります。そんな中で、手書きの手紙は、気持ちやあたたかさが伝わる特別なものではないでしょうか。礼儀を重んじる日本人は、書式をはじめ、文体、言葉づかいなどにも細やかな心配りをしてきました。ときには、お気に入りの封筒や便せん、切手を用いて、相手のことを思いながらゆっくりと手紙をしたためてみませんか？



表書き

相手の名前のおとにどのような敬称をつけるかは、相手の地位や送り手の立場によって変わります。

『様』… 個人名につける一般的な敬称。目上や目下、男女関係なく使う

『殿』… あまり使われなくなりましたが、公文書やビジネス文書など改まった手紙に使う

『御中』… 企業や団体などに使う。その組織のどなたかに、という意味

企業宛の手紙は、(株)〇〇のように略字は使わず、株式会社〇〇と書くのが正式

『各位』… 複数の相手に出す場合に使う。〇〇の皆様へ、という意味。「従業員各位」など

『先生』… 医師や教師、政治家などに使う



さらに、敬意を表して「脇付け」を添えることもあります。

『侍史』: おそばにいる人を通じて 『机下』: 相手の机の下から差し出す という意味

また、手紙を受取人本人に直接開けてもらいたいときには、封筒の表に『親展』と赤字で書きます。

頭語と結語

「こんにちは」にあたる頭語（冒頭の言葉）と「さようなら」にあたる結語（結びの言葉）は相手や内容にあわせて対で用います。

一般的 … 拝啓-敬具・拝呈-敬白
かしこまる … 謹啓-敬具・謹呈-敬白
緊急 … 急啓-早々・急呈-敬具
前文を省略 … 前略-草々・冠省-早々
返信 … 拝復-敬具・復啓-敬白 など

忌み言葉

言霊を大事にしてきた日本では、手紙でも『忌み言葉』を使うことを避けています。

慶事の手紙 … 「朽ちる」「古い」「乱れる」
結婚や出産の手紙 … 「切れる」「去る」「離れる」
新築や開業の手紙 … 「散る」「燃える」「倒れる」
弔事の手紙 … 「重ね重ね」（繰り返し言葉）
「また」「再び」 など

参考文献：日本人のしきたり（著：朝倉晴武）

マナーインストラクター部HPです。ぜひご覧ください。次回は10月発行予定です
<https://www.nakakita-manner.com/> お楽しみに♪

